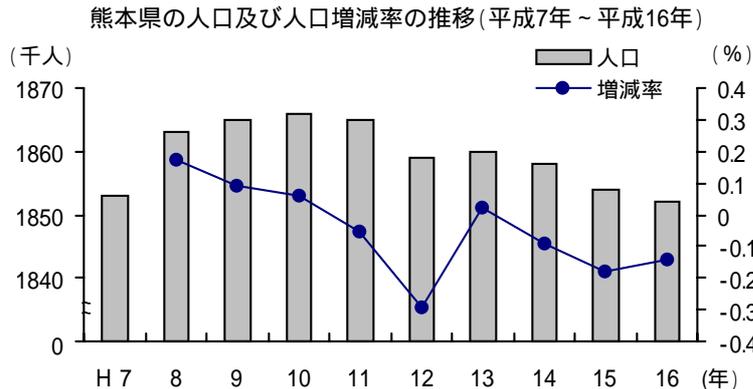


結果の概要

総人口	1,852,135	人	前年比	2,657	人減少
男	873,028	人	前年比	1,804	人減少
女	979,107	人	前年比	853	人減少
世帯数	674,815	世帯	前年比	6,330	世帯増加

1 熊本県の人口 - 転出超過により減少

平成16年10月1日現在の人口は、1,852,135人で、主に転出超過により、前年に比べ、2,657人減少した(0.14%)。過去10年間をみると、平成10年までは増加していたが、近年は減少傾向にある。

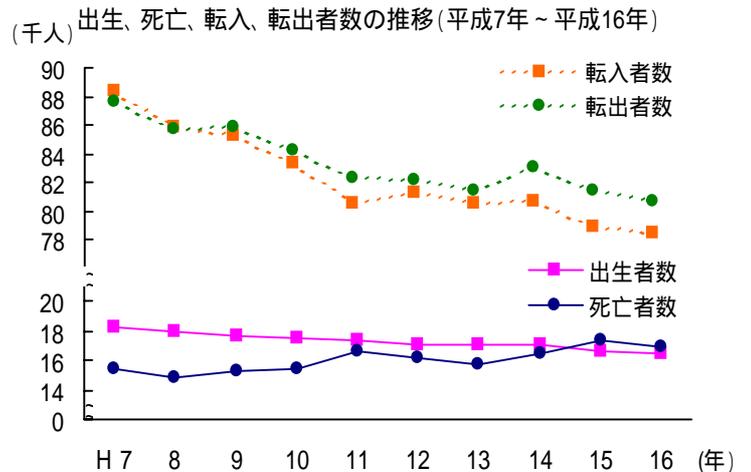


年次	人口	増減率
H 7	1,859,793	
8	1,862,989	0.17
9	1,864,712	0.09
10	1,865,773	0.06
11	1,864,808	0.05
12	1,859,344	0.29
13	1,859,752	0.02
14	1,858,070	0.09
15	1,854,792	0.18
16	1,852,135	0.14

2 人口動態 - 前年に続き出生者数が死亡者数を下回る

平成15年10月～平成16年9月の自然動態は470人であった。内訳は、出生者16,453人、死亡者16,923人で、前年に引き続き出生者数が死亡者数を下回った。

社会動態は転入者78,539人、転出者80,726人で、2,187人の転出超過である。過去10年間をみると、平成8年までは転入超過であったが、平成9年からは転出超過が続いている。



3 市町村別人口 - 熊本市近郊で増加

最も多いのは熊本市の670,945人(県全体に占める割合36.2%)で、次いで八代市104,269人(同5.6%)、荒尾市56,606人(同3.1%)である。

人口増減数は、前年に比べ増加したのは菊陽町(1,311人増)、熊本市(942人増)、西合志町(653人増)など21市町村で、1町が増減なしで、他65市町村が減少した。

人口増減率は、最も増加率が高いのは菊陽町(4.4%)、次いで西合志町(2.3%)、西原村(1.8%)で、熊本市近郊市町村での増加が目立っている。一方、最も減少率が高いのは五木村(3.1%)、次いで坂本村(2.7%)、蘇陽町(2.6%)である。

人口増減数及び増減率の上位5市町村(平成15年10月～平成16年9月)

順位	人口(人)	人口増減数(人)		人口増減率(%)	
		増加	減少	増加	減少
1	熊本市 670,945	菊陽町 1,311	上天草市 549	菊陽町 4.4	五木村 3.1
2	八代市 104,269	熊本市 942	八代市 459	西合志 2.3	坂本村 2.7
3	荒尾市 56,606	西合志 653	牛深市 384	西原村 1.8	蘇陽町 2.6
4	玉名市 45,232	松橋町 263	人吉市 371	嘉島町 1.4	御所浦町 2.6
5	本渡市 40,580	大津町 202	芦北町 365	富合町 1.2	清和村 2.5

4 年齢別人口 - 県民4.3人に1人が65歳以上

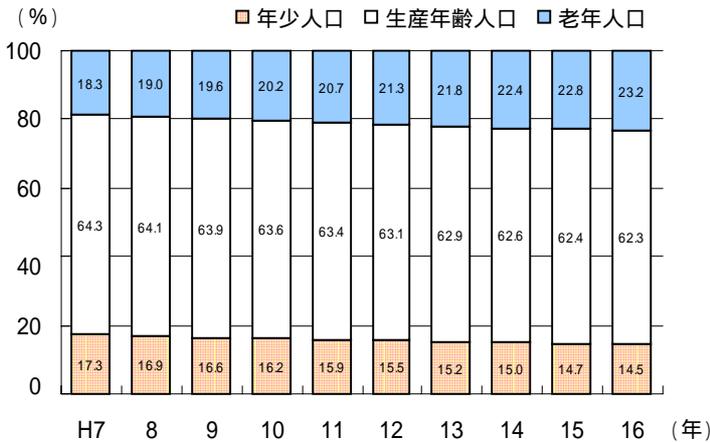
年少人口(0～14歳)	269,184人	(県全体に占める割合 14.5%)
生産年齢人口(15～64歳)	1,153,648人	(県全体に占める割合 62.3%)
老年人口(65歳以上)	429,303人	(県全体に占める割合 23.2%)

年少人口は269,184人で前年より4,159人の減少、生産年齢人口は1,153,648人で4,351人の減少、老年人口は429,303人で5,853人の増加となった。

県全体に占める割合は、前年に比べ、年少人口は0.2ポイント低下、生産年齢人口は0.1ポイント低下、老年人口は0.4ポイント上昇し、老年人口の増加が顕著である。

老年人口の県全体に占める割合は23.2%で、熊本県民4.3人に1人が65歳以上となった。

年齢3区分別人口及び割合の推移(平成7年～平成16年)



年次	年齢3区分別人口(人)		
	年少人口(0～14歳)	生産年齢人口(15～64歳)	老年人口(65歳以上)
H 7	321,462	1,196,479	340,924
8	315,297	1,194,473	353,219
9	308,871	1,190,992	364,849
10	302,765	1,186,318	376,690
11	295,943	1,182,569	386,296
12	288,654	1,173,790	396,020
13	283,490	1,170,122	406,140
14	278,400	1,163,342	416,328
15	273,343	1,157,999	423,450
16	269,184	1,153,648	429,303

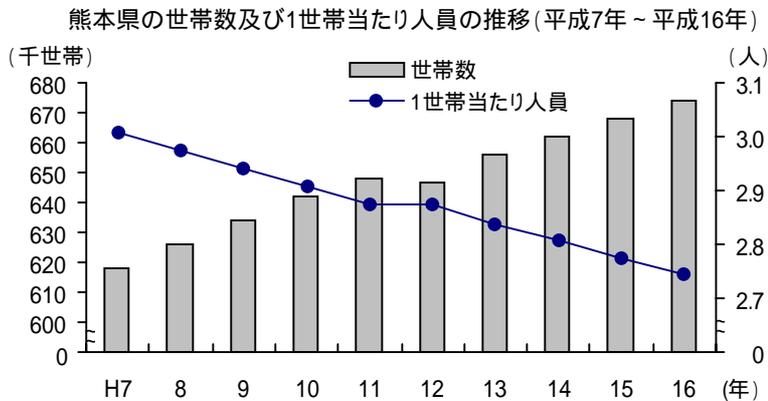
H7、12(国勢調査)は年齢不詳を除く

5 世帯 - 1世帯当たり人員は年々減少

平成16年10月1日現在の世帯数は、674,815世帯で、前年に比べ、6,330世帯増加した(0.9%)。

1世帯当たりの人員は2.74人で、前年に比べ、0.03人減少した。1世帯当たりの人員は、単身世帯の増加、核家族化等により年々減少している。

市町村別に1世帯当たりの人員をみると、最も多いのは横島町3.92人で、最も少ないのは長陽村2.37人で、その差は1.54人である。



年次	世帯数	1世帯当たり人員
H 7	618,211	3.01
8	626,287	2.97
9	634,390	2.94
10	641,983	2.91
11	648,438	2.88
12	647,216	2.87
13	655,633	2.84
14	662,076	2.81
15	668,485	2.77
16	674,815	2.74

1世帯当たり人員の上位5市町村

順位	1世帯当たり人員	
	多い	少ない
1	横島町 3.92	長陽村 2.37
2	天水町 3.64	天草町 2.40
3	旭志村 3.56	牛深市 2.44
4	七城町 3.54	熊本市 2.45
5	竜北町 3.53	水俣市 2.54